



コスモス

NO.34 HP 用

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

人権・なかよし集会(第2回)

今年2回目の『人権なかよし集会』は、財田町の人権擁護委員の木下さん・赤坂さん・窪さんも参加してくださいました。そして、「いじめやつらいことがあったら、私たち人権擁護委員や大人に相談してほしい」と伝えてくださいました。心強い味方である大人がいてくれることを知り、安心した子どもが多かったと思います。また、子どもたち一人一人へのプレゼントをいただきました。ありがとうございました。



なかよしクイズ

児童会役員による「なかよしクイズ」を初めて行いました。8月、県教委主催の「いじめゼロ子どもサミット」が高松で行われ、本校の6年生の中で、さん・さん・さんが自主的に参加し、そこでのクイズでの学びを、児童会役員さんが財田小学校用にアレンジし、いじめについてみんなで考えるクイズとして出題してくれました。

また、各学年の今年の「なかよしめあて」の振り返り（中間発表）では、それぞれの学年で立てていた目標への取組や達成状況について、代表の子が堂々と発表してくれました。

「半分ぐらいはできたけれど、後の半分ぐらいはできませんでした。」「けんかがない、優しいクラスになってきていると思います。」「相手の言うことをよく聞くことを、これからも大切にしていきます。」「など、正直に反省したり、3学期に向けて取り組むことを発表したりしてくれました。

一人一人の人権を、お互いに大切にしたい、どの子どもが安心して生活できる財田小学校を守り育てていくために、これからも力を合わせていきます。



1年生の発表

友だちは ※11月のつどいのお話



少し前になりますが、11月のつどいでお話をしました。テーマは、『友だちは 』です。

上の写真を、スクリーンに次々と映しました。そして、

「みなさんの学校生活の様子です。これらの写真を見て、『友だちは 』の にはどんな言葉が入ると思いますか？」

と問いました。何人もの子が自分から発表しました（素晴らしい!!!）。

「どの答えも素晴らしいですね。でも、今回の答えはこれです。」

と言って、『友だちは先生』を提示しました。

「勉強でも、運動でも、遊びでも。私たちは、友達からたくさんのことを学んでいます。教えてもらっています。だから、友達は先生だと思うのです。」

そして、ちょっと難しいけれど、『我以外皆我師也』（われいがい みな わがしなり）という、小説家 吉川英治氏の言葉を紹介しました。

「自分は何でもできる。自分は何でも知っている。自分は一番だ。」

と思っていたら、成長することができません。反対に、

「自分以外の人は、みんな自分の先生だ。みんなから、たくさんのことを教わろう。学ぼう。」

という気持ちでいれば、たくさんの人から、たくさんのことを学び、どんどんどんどん成長でき、学び合う仲間もどんどんどんどん増えることでしょ。

